令和5年度 第2回学校運営協議会

住 所 盛岡市羽場18-11-1
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校
校 長 瀬戸和彦
電 話 019-638-3141

1 会議の名称

令和5年度第2回学校運営協議会

2 会議の日時

令和5年10月24日（火）11：10～12：00

3 会議の場所

盛岡工業高等学校 盛工百年館 第1研修室

4 出席者の氏名

清水 健司	岩手県立産業技術短期大学校 校長
池 浩之	岩手県工業技術センター 理事
浅沼 清一	エスペロの会 会長 [JA岩手中央代表理事組合長]
佐々木 秀一	盛岡市立飯岡中学校 校長
中里 哲夫	同窓会 体育後援会副会長
中村 知泉	P T A 元P T A 3 学年委員長

瀬戸 和彦	校長
千葉 靖久	副校長（全日制）
尾崎 芳彦	副校長（全日制）
宮沢 一裕	副校長（定時制）
鶴田 和久	事務長
菊池 光	教務主任（全日制）
小野寺 真由美	総務主任（全日制）

【欠席者】

野田 純孝 株式会社ミクニ盛岡事業所 所長

5 会議の次第（進行：尾崎副校長）

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 協議（進行：清水委員）
 - ア 令和5年度中間反省事項について
 - イ 3学年進路状況について
 - ウ 盛工匠祭、盛工祭について
 - エ 委員からの提言等
- (4) 閉会

6 会議の概要（協議内容）

(1) 校長挨拶

本校の近況については、イオンモール盛岡で盛工匠祭を実施した。生徒は普段の学習活動を紹介することができ、御来場の皆様からは大変好評をいただいた。また、今月末の金曜日と土曜日には文化祭が予定されており、生徒は準備を一生懸命頑張っている。福井県での全国産業教育フェアには、アイデアロボット競技で県大会1位と2位を獲得した本校から2チーム出場する。

また、自動車部も各種大会で上位進出しており、鹿児島国体ではアーチェリー部が個人で6位、ウエイトリフティング部が個人で8位と10位、そして陸上競技部も8位という成績であり、部活動も本校の魅力の一つとして一生懸命頑張っている。

このように生徒は、部活動やものづくり、資格検定に意欲的に取り組んでおり、更なる学校の魅力化に向けて委員の皆様から御意見を頂戴し学校運営に生かしてまいりたいと考えている。

(2) 協議（議長は清水会長が務める）

協議事項のア～ウまでを通して千葉副校長が説明した。

ア 令和5度中間反省事項について（別冊の中間反省会議資料）

- ・ 経営企画部については、「女子にとっても魅力ある工業高校とする」という重点目標が、本校にとっての魅力化の大きな方針ではないかと考えている。女子制服の検討をはじめ、女子生徒が更に輝けるような活動を行っている。
- ・ 総務部からは、いわゆる終業式や始業式を体育館に集合する開催方法の検討が出された。今年の夏休み前後の猛暑では、体育館での集合開催に生徒の体調面で不安があったことから、状況によっては、生徒は体育館に集合せずに各教室で放送あるいはTeamsを用いて実施する方法を取り入れても良いのではないかとという反省が出された。定例職員会議の会議資料については、印刷せずにTeams上にファイルを掲載して閲覧することでペーパーレス化を完全に開始している。
- ・ 教務部では、授業評価アンケートにおいて「授業がわかる」と答える生徒の割合目標を国語80%、数学70%、英語65%と設定している。これは年度末に近いところで今後実施予定となっており、第3回のこの会議で結果をお示しする。
- ・ 生徒指導部については、「いじめ防止に関する取組」欄に記載のとおりいじめの認知は三件であり、いずれも生徒間のトラブルに端を発する内容であった。今現在は経過観察中、あるいは解決を見ている状態である。また「非行の防止」の欄については、スマートフォンの不正使用による規則違反としての指導が何度かあった。評価がCである問題行動に関しては、6件で13名が指導を受けた。自転車運転マナー指導に関しては、交通事故が14件で17名である。いずれも登下校時に発生したもので、自動車と接触が非常に多い。ヘルメットの着用率は9月4日時点の調査では3.7%と低く、改善に向けて検討することとしている。
- ・ 進路指導部では、求人票のデジタル化を今年から始めている。これまでは、およそ3000社の求人票全てを紙に印刷し、3学年の各教室に配置したものを閲覧していた。デジタル化を取り入れたことによって生徒がいつでもスマートフォンで確認でき、家庭で保護者とともに閲覧できるようになるなど、非常に円滑に運用することができた。
- ・ 保健厚生部では保健室の状況について、9月20日現在で延べ133名が利用している。曜日別では月曜日が多く、学年別では一年生が多いという状況である。
- ・ 教育相談部では、職員に対しての支援・啓蒙として「生徒情報共有会議」を隔月で実施している。支援が必要な生徒の情報を全職員で共有し対応している。
- ・ 1学年は特別指導2件と自転車事故の件数が多いこと、2学年からは自転車事故が昨年度と比較して大幅に減少し、特別指導は0件であること、3学年では問題行動に関する指導が4件あったことからC評価となっている。
- ・ 工業科及び各普通教科の中間反省内容と、定時制の中間反省資料については資料を参照いただきたい。

イ 3学年進路状況について

10月10日現在の就職内定状況である。応募の割合は県内企業が61社で41.8%、県外企業は85社で58.2%であり141社から内定をいただいた。昨年の数値と入れ替わり、今年度は県外企業への応募が上回っている。次のページには定時制の進路一覧を掲載している。ご覧いただきたい。

ウ 盛工匠祭、盛工祭について（別紙の写真資料）

10月14日（土）と15日（日）の二日間、盛工匠祭を実施した。一日目は天気恵まれて非常に多くの来場者に見ていただき、写真のとおり生徒の表情が非常に良く、日頃は関わることの

少ない家族連れや一般の方々への対応を頑張っていた。高齢の方に対しても必死に説明する姿が見られた。二日目は雨天となってしまう、屋外で行われた土木科と工業化学科の催しは時間を早めて切り上げた。別紙のアンケート結果資料のとおり、来場いただいた方の年代は12歳以下の子供と40代の親御さんが一番多かった。去年はアンケートを会場で紙に書いていただいたが、30～40組程度からしか回答を得ることができなかった。今年はQRコードの用紙をお渡ししてゆっくりと回答いただく方法に変更したところ、去年の3～4倍の感想をいただくことができた。今後もこの方法でアンケートをとりたいと考えている。

第1回の運営協議会以降の5か月間に実施した、本校の主だった活動について説明申し上げた。委員の皆様からは、忌憚ない御意見をいただきたい。

【委員】

経営企画部の中間反省に、「女子にとっても魅力ある工業高校とする」とあるが、今現在の女子生徒の在籍人数は何名か。

【学校】

全校生徒669名のうち、女子生徒は62名である。

【委員】

先生の場合は女性が何名か。

【学校】

全職員109名のうち、女性は約20名である。

【委員】

教務部の資料に記載されている授業評価の数値目標について、教科ごとに%の数値が示されているが、これはどういった内容なのか。

【学校】

国語であれば、国語の授業が「よくわかる」や「わかる」と回答する生徒の割合を数値で示したものであり、全校生徒に対する割合である。

【委員】

授業評価の数値目標が教科ごとに異なるのはなぜか。

【学校】

数学や英語を苦手とする生徒が多いと思われることから、国語よりも目標数値を低く設定している。

【委員】

世の中ではDXが推進されているが、Teamsを使ってオンラインでの勉強に活用し始めることも必要だと思っている。求人票のペーパーレス化、デジタル化については、今までは3年生だけを中心に紙で閲覧していたと思うが他学年ではどのようになっているのか。

【学校】

2学年は前年度の求人票を早い時期に教室へ配置し、閲覧していた。

【委員】

デジタル化によって家庭でも閲覧できるようになったことは保護者にとっても良い取り組みだと思う。3学年の進路状況の資料で、管内・県内・県外の区分は何を基準に分けられているものなのか。「盛岡事業所」の企業が県外として記載されてあることに違和感がある。

【学校】

後で確認してみるが、本社所在地を基準としていると思われることから、「盛岡事業所」でも県外に区分される場合がある。

【委員】

今日初めて授業を参観させていただいたが生徒が少なくなったことと、黒板のスクリーンに映して授業を進めていることに驚いた。生徒たちが情報機器を取り扱う技術はすごいものを感じているが、スマートフォンなどで何か問題になっていることはないか。情報化時代で広がりがあるが、何らかの対策をおこなっているのか。

【学校】

学校全体としての指導は「情報モラル講習会」を実施している。警察や企業など外部から講師を招き、陥りやすいトラブル等について学年ごとに指導している。併せて、先生方が事ある度に根気強く指導している。

【委員】

職員の不祥事に対する再発防止について、取組状況を教えていただきたい。

【学校】

コンプライアンスの遵守については日頃から教職員に話をしており、職員を集めた際にも改めてコンプライアンス遵守を話した。特に何かをしたわけではないが、職員会議等で普段から職員に伝えている。

【委員】

校種に関わらず、それぞれの学校現場で同じ感覚で戒めていかなければならないと感じており、職員のコンプライアンスに関わっては、県内全ての学校が一緒になってやっていくべきであると考えている。

今日の授業を参観し、生徒が一生懸命に頑張っている姿を見ることができた。先程は授業評価で数学や英語の話題になったが、中学校の側からすると、高校の先生方には本当に感謝している。先日は本校生徒が定時制の授業等を見学させていただいたが、とても丁寧に対応してもらい、色々とお話を伺えたことで進路選択を前向きに考えている。個別の見学にも丁寧に対応していただいていることに、学校でも本当に感謝している。

【委員】

これまでの学校の様子を改めてお話いただき、生徒の頑張りや先生方の御苦労を知ることができた。盛工匠祭の二日目に様子を見に行ったが、天候が悪く残念だった。学校紹介パンフレットは色々工夫されており、それぞれの学科の特性が表れているとは思いますが、ターゲットをどの年齢層にしているのか。今時であれば文字が多いものより、もう少し視覚に訴えるようなつくりのほうがいいのではないかと感じる。様々な角度から工夫していただき、是非来年も開催してもらいたい。女子生徒、いわゆる「リケジョ」を増やしたいとの話があったが、パンフレットでは一番の最後になっている。実習や現場で実際に楽しそうに活動しているところや、生徒の声が少ない印象を受けた。検討していただければと思う。

教務部の中間反省会資料に記載のある「授業力の向上」については、生徒の授業評価に目標数値が示されているが、達成は中々難しいのではないかと感じる。目標を示すことは簡単だが、生徒が本当に理解できたかが大切だと考える。今後は「基礎学力の向上」と併せ、重要なキーワードになるのではないかと感じる。

今現在は、不登校の生徒や退学した生徒はいるか。

【学校】

不登校は以前ほど多くはないが一桁であり、退学者が1名で休学している生徒が2名、転学した生徒が1名である。

【委員】

そのような生徒に対して、先生方は共通理解をもって関わっているのか。なぜ伺ったかという、全国的には不登校や退学する生徒が多いと聞き、異常ではないかと感じている。

【学校】

先程も御説明したとおり「生徒情報共有会議」を開催し、全職員での共有と共通理解の下で担任や学科、学年、教科担当者で連携を図りながら指導に当たる体制をとっている。

【委員】

高校入学後に、なかなか適応できない生徒が見過ごされてしまうことがあると聞く。日頃の先生方の手厚い御指導は重々承知しており、今回はあえて伺ったが、これからも先生方の共通理解を図りながら、生徒たちのために頑張っていたきたい。

【委員】

進路状況の資料を母親目線で見ると納得した。県外を希望するのはやはり興味があり、親から離れたい気持ちや県外への憧れが強いからだと思う。このような結果が出ることは衝撃的だが、自分自身では納得だった。いずれはUターンして県内で働きたいとなったときに、その受け入れ先企業が活気づいていればよいと思うし、県内にそのような会社を創っていかなければならない。大人として何ができるのかは正直わからないが、元気のある地域にしていきたいと感じている。

自転車のマナーについて話をしたい。朝晩、学校前の道を車で出勤しているが、一人で走っている生徒はきちんとしており問題はないが、2～3台、多い時には4人、5人の集団で走っている生徒には非常に気を遣うことが多い。並進したり会話に夢中だったり、危険に感じるが多々あるため、周囲をよく見て気を付けて乗ってもらいたい。これからは降雪時期になるが、雪道での自転車利用についても学校からの注意喚起をお願いしたい。併せて、下校時間帯に歩道のない道路を歩く場合は、反射材を着用するなどして交通事故の防止に努めてもらいたい。

【委員】

Uターンを含む県内企業への就職については、先生方が地元企業をよく知ったうえで、希望する生徒に対してきちんと紹介できているのかが少し気になっている。就職担当の先生だけに任せることなく、全ての先生方が就職状況を把握して企業に繋げていただけたらと思う。産技短では「岩手県の産業振興へ寄与すること」を目的としていることから、県内就職100%を努力目標として取り組んでいる。県内にも素晴らしい企業がたくさんあることを先生方にも理解いただき、生徒に伝えてほしいと考えている。

【委員】

先生方には健康第一で、リフレッシュしながら生徒と関わっていただければと思う。先生方が元気でないと、生徒の活動や活躍につながらないと思う。是非、健康第一で頑張っていたきたい。

(3) 閉会

7 会議のまとめ

県内就職率や女子生徒のPR、交通事故の防止、そしてコンプライアンスなどについて様々な御意見を頂戴した。今後の本校の検討課題として参りたい。引き続き御支援、御協力をお願いしたい。